

第42号
 発行日：平成19年10月10日
 発行所：
 東京青山同窓会事務局
 〒107-0062
 港区南青山3-18-4-304
 (有)ジェイ・クラブ内
 TEL. 03-3423-3591
 発行者 池 一

東京会報

東京青山同窓会

—東京青山同窓会年間維持費—
 1口 / 1,000円 2口以上(年間)
 会計幹事：佐藤 茂 (77回)
 振込先：三菱東京UFJ銀行・
 江戸川橋支店
 普 1170247 東京青山同窓会
 郵便振込口座 00150-9-4074

平成19年 東京青山同窓会 新人歓迎会・講演会 報告

平成19年6月15日(金) 於：ANAインターコンチネンタルホテル東京 田中邦直 76回

115回卒の新人32名を迎え、2007年度新人歓迎会が東京全日空ホテルで開催されました。

第一部は栗林貞一会長(59回)のご挨拶に始まり、新潟からのご来賓、風間士郎(64回)青山同窓会副会長、新潟高校で今年の卒業生を担当された高橋覚先生(85回)からご挨拶いただきました。

講演では、猪口孝・中央大学教授(70回)による「越・ルネッサンス」をテーマに、故郷「新潟」の経済・産業の現状や、未来をお話いただきました。新潟市は政令市の中でも群を抜いた食糧自給率67%であり、その豊かさが、人に対するやさしさをもつ県民性に現れているとのこと(納得!)。また新人に向けての、「無

理をしないこと」「失敗を恐れないこと」とのメッセージはセカンドライフを迎えつつある団塊世代にも胸にしみる言葉でした。

その後、恒例の新人コール。小橋川嘉樹君(107回)のコールに応える澁刺とした32人の新人に40年の歳月を感じて、薄くなった頭をそつとなでてしまった。新人を代表して敦井みどりさんのしっかりとした返礼の辞も素晴らしいものでした。

第二部の懇親会は、池一幹事長(74回)の開会の辞、いつもお元気の斎藤伸雄名誉会長(44回)の乾杯の音頭で始まり懇親と移りました。久しぶりにあった同輩、先輩との楽しいひとときでした。ただ我が76回はいつも出席者が少

なく、少し寂しい想いも…。同期諸君、次回は是非多数出席してください。この場を借りてお願いします。

懇親会も終盤となり、旧制校歌・新制校歌斉唱の後、新人全員が壇上に上がり応援歌を皆で合唱。園城英二先輩(59回)の閉会の辞でお開きとなりました。

その後、赤坂の「日本海庄や」での二次会と会場を移し、新人、諸先輩を交え遅くまで大いに盛り上がった一日でした。



会長挨拶

栗林 貞一 59回

世相雑感



先日の参議院議員選挙において、佐藤信秋氏(74回)が厳しい選挙戦を勝ち抜いて当選した。心からお祝いするとともに、郷土新潟の発展のため、日本をよくするため頑張っていたいただきたい。

ところで、その日本の現状はどうかと見ると誠に嘆かわしい出来事が随所に起きている。まず5,000万件の年金記録が宙に浮いた問題だ。長い間のあまりにもずさんな業務の処理・管理にあいた口がふさがらない。さらに追い討ちをかけるように社会保険庁や地方自治体の職員による年金保険料の横領・着服が4億円ものぼるといふのだ。私自身も以前公務員を長くやっていたが大きなショックである。これは刑法犯罪であり、職員の人間失格である。

話は変わるが、最近では驚くべき凶悪犯罪が目につく。親が自分の子を殺す、子が親を殺す、自分のむしゃくしゃを晴らすために人を殺す——相手は誰でもよい。殺人はもともと深刻な動機があるものだが、この頃はそれがはっきりしなくて

も衝動的に簡単に殺人を犯す。人命に対する感覚が以前と全く変わってしまった。さらに驚くのは自殺者である。わが国の自殺者は年間30,000人を越えている。つまり日本のどこかで1日100人近い人が自殺している。毎日である。この中には子供のいじめによる自殺なども含まれる。

これらを通じて思うのは、人命の軽視である。人命を軽んじることがいつの間にか身体にしみついてしまった。

以上のような問題すべてについて考えてみると、戦後60年の日本の人と社会のつくり方、中でもこの間の教育の問題に大きく突き当たる。学校教育、家庭教育のあり方が問題とされるのは当然である。しかし人の心・意識を入れ替えるようなことは長期間を要する。しっかり腰を据えて取り組まなければならない。

白砂青松の青山の薫陶と青陵健児諸兄の垂範に、ますます期待を寄せたいと思う。

東京青山 61 期同期会

佐藤 敏夫 61回

平成19年6月1日(金曜日)午後2時、61期(昭和28年卒業)の同期会が東陽町ビスタホテルで開催されました。近年は毎年開催され、今年が第30回となります。幹事は卒業時クラスの持ち回りで今年の担当はE組(川島ホーム)でした。

昨年まで61期にちなんで6月の第1土曜日を開催日と決めていましたが、全員72歳も過ぎて休日にこだわることもないだろうし、休日は会場探しも大変ということもあって、初めて週平日、それも足元の明るい午後2時開宴となりました。

今年も新潟から恩師大橋禎助先生が元気にご出席下さいました。また青山同窓会会長の長谷川義明君をはじめ江口良助君、斉藤義明君が新潟から、秋田から長沼雄峰君がと遠来の常連も揃い、40名出席の盛会となりました。

幹事クラスの小林元雄・東京青山同窓会副会長が司会し、川崎栄一君が幹事代表で挨拶、大橋先生からお言葉を頂戴して開宴。新潟組から差し入れの越乃寒梅で乾杯。会場の席はテーブル席で、もう皆さん料理は量より味、当ホテル名シェフのフランス料理を味わいながら、遠来の諸君からの身近近況報告、

長谷川同窓会長・元新潟市長からの郷土新潟と母校の近況報告に耳を傾けました。

2クラスずつ大橋先生を囲んで記念写真、幹事クラスではない熊谷隆幸君が得意のカメラでカメラマンを担当して沢山いいスナップも撮ってくれました。

会の山は、これも恒例となった江口君の音頭で新・旧校歌、応援歌の斉唱。全員が肩を組んで一つの輪となって昔に返り蛮声を上げ放吟しました。

次年度の幹事はF組ですが、来年は卒業55年目となり、5・10の節目の年は新潟・東京合同の同期会となります。とにかく来年のお世話をF組にバトンタッチして、田中忠夫君の中締めで第30回の東京青山61期同期会は楽

しく元気に閉会しました。

ホテルから外へ出るとまだ初夏の陽は高く、これもまた良いものでした。



64回生東京同期会 今年も古稀

東京同期会事務局 坂井敬・川崎明

64回同期会は、今年人生の節目である70歳古稀を迎えました。そんな思いもこめて6月21日(木)新宿の東京厚生年金会館で恒例の同期会を開催いたしました。今年も常連の方々が多かった代わりに、この5年間の会合初参加の方が7名、新潟から幹事2名が出席、44名といつもの通り返りかたで楽しい同期会となりました。

10年前の還暦では、会社勤めの身にとって「よくぞ健康で働き抜いて定年を迎えられた。さあこれから第2の人生を楽しむぞ」というような活気を感じましたが、古稀というのは第2の人生もそれなりに定着し、色々な老年者割引が受けられるような年になったという複雑な思いにかられました。しかし、同窓会と同期会というものは年をとって来ると

その良さが判ってくると言われます。東京同期会は、毎年新潟県を除き全国150名の方にご案内しております。来年は土曜日に開催し、医師など現役の方も出席しやすいようにしたい、もう少し時間をとってお互いにもっとも話ができるようにしたい、と考えております。

どうか来年はさらに多くの皆さんからご参加いただき、「味のある同期会」にしていきたいと思っております。

平成19年6月21日(木)新宿の東京厚生年金会館にて



佐藤信秋 (74回) 参議院議員選挙当選

応援奮闘記

大滝 均 74 回

三月も終わりにならんとするとき、チーフ坊(佐藤信秋君の高校時代のあだ名)が参院選に立つのだけれど、東京の票田が思わしくない、との声。かつてなら、事務次官経験者は、危ないことはないのだけれど、今回はどうも様子が違う。同窓会関係、県人会関係で東京の票の掘り起こしが図れないか、そんなことから始まった。

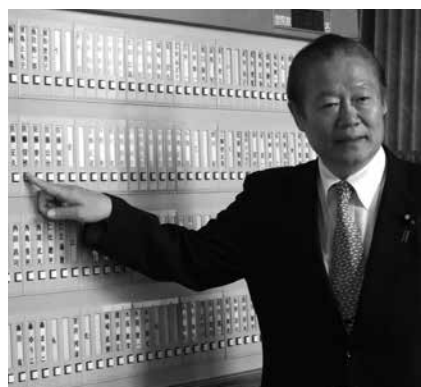
しかし、いざ動き始めてみると、何をしたらいいんだ?、告示になったら電話をかけまくる、どこへ?、誰に?、活動資金はどうするのだ?...。

何も知らない素人集団。佐藤信秋後援会事務局に訪ねてみたが、資金援助をなど言い出すこともできない。有志の資金カンパから始めるしかない。まずは、仲間にカンパの手紙を書こう。しかしまた問題が、選挙がらみでカンパを募るには、政治団体として届け出なければ選挙違反に問われかねない。じゃー、

政治団体の届け出だ。

有志にカンパお願いの手紙。目標金額〇〇万円。しかしカンパとなると途端に透き間風が吹く。「ホントにお前がやっているのか」と確認の電話をしてくださいの奴、カンパもなければ署名もない。

「頼むよ」...。目論見は見事外れ目標額の三分之一。これでは新しく事務所を借りることも電話を引くことも無理。



手当たり次第に署名の用紙を配布し、名簿作成開始。

そのうちに告示、うちの特許事務所にIP電話を引いて、土日だけボランティアを募り電話攻勢。何人かのボランティアが集まった。遠くは札幌からも...

東京青山同窓会幹事会、新人歓迎会、新潟県人会納涼大会、ことあるごとに手作り名刺を手頭に下げまくる。「非拘束名簿式だから、個人名を書いて」、そんな小難しいこと、伝わる訳はない...。県人会納涼大会の日、折しも「中越沖地震」、古里の無事を祈って、参加者の気もそぞろ...

投票日、猛烈な逆風が吹き荒れている。なかなか決まらない。翌朝起きたら、どうやら当選。

皆様お世話になりました。お礼やお祝いの慰労・祝賀のパーティーは公職選挙法違反とか、なにやら住みにくい世の中、そんな不義理でいいんかいな。

ともかくも当選することができました。皆様、ありがとうございました。

東京佐藤のぶあき友の会事務局 事務局長 大滝 均

弾ける笑顔に59年の疲労と貫禄が！

〈東京青山75会〉開催

曾我 正男 75回

2007年8月29日、東京銀座のレストラン「ローマイア」で、「東京青山75会」のメンバーが30名集合しました。75回卒業の私達は15年前から毎年夏と冬の2回25名程度が集まり、懇親を深めています。

今回は30名と過去最高の参加者でした。しかも女性の滝上（旧姓:佐藤）登志さんが始めて参加し、笑顔を振りまいていました。迎える男性陣も懐かしさのあまり、やあやあと言いながら周りに集まります。飲んだり、食べたり、しゃべったりしながらカメラに収まりポーズを取る。本当に元氣な面々です。

しかしながら、早いもので卒業してからもう41年が経ち、髪に、顔に、腹にと「疲労と貫禄」が同居しています。各人が仕事の話をはじめとする近況から、心身の病気のこと（健康談義）、将来の生活のこと（退職金や年金）、はたまた孫のかわいさなど話は尽きぬ2時間半でした。

今年12月に再開を約して散会し、三々五々、更け行く銀座のネオン通りを歩きながら見ると、二次会に向かうのでしょうか、タクシーに乗り込むグループもありました。来年は還暦を祝って、さらに盛大な会を企画したいと思います。乞うご期待！



寄稿

『歴史の教師 植村清二』の出版

植村 鞆音 64回

今年二月、『歴史の教師 植村清二』（中央公論新社）を上梓した。六十一年間教壇に立ち続けた父の伝記である。

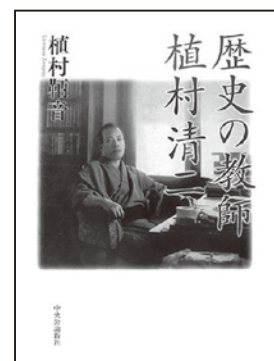
私はことし六十九歳になったが、サラリーマンを卒業した四年前、幼いころからの憧れだった執筆業を一本の柱に生きてみようと思った。一昨年上梓した伯父の評伝『直木三十五伝』（文藝春秋）はその第一作である。第二作のテーマには父を選んだ。伯父は傲岸不屈をもって聞こえた文士、しかも文学賞のタイトルに名を残しているのもその評伝にはいくらか商品価値があったかもしれない。が、生涯平凡な一教師だった父の伝記が読者になにかを訴えることが出来るだろうか。当初私の悩みはその一点にあった。

父は、明治三十四年に生まれ、昭和六十二年八十六歳で大往生をとげた。大阪の古着屋の二男。十歳ちがいの兄

が宗一、のちの直木三十五である。苦学して大正十一年東京帝国大学を卒業、その後松山高等学校（のちの愛媛大学）、新潟高等学校（のちの新潟大学）、国士館大学などで教鞭をとった。専門は東洋史。幼いころから読書の虫で、博覧強記。講義は、「咳唾珠をなす」名調子だったという。

最大の蹉跌は、終戦の翌年愛妻を失ったことである。父は、勉学の傍ら家事をきりまわして私たち三人の子どもを養った。戦争と妻の死があったので、新潟での二十四年間は父にとってけっしていい時代とはいえないが、父はその間も悠然と生きた。智の力が与っていたと私は思う。『万里の長城』『アジアの帝王』『神武天皇』『楠木正成』など著作もおおい。戦後顧みられなくなった神武天皇や楠木正成に光をあてたのは、いかにも反抗心旺盛だった父らしい。

出版後の読者の反響は少なくない。「よくぞ書いてくれた」という教え子さんたちの激励の手紙がいまだに舞いこむ。丸谷オーさんは「まことによく出来た本」、縄田一男さんは「一字一句いとおしむが如くに読んだ」と書評してくださった。七月には思いもかけず第五十五回エッセイスト・クラブ賞を受賞した。父や母の待つ冥土へのいい土産が出来たと喜んでいる。



ミニ玲瓏会ゴルフ会報告

佐藤 敏夫 61 回

春の玲瓏会と秋季玲瓏会の間にあたる2007年6月8日(金曜日)玲瓏会参加メンバーを中心に呼びかけて東京青山同窓会有志の「ミニ玲瓏会ゴルフ会」が三菱系企業のプライベートコースとして有名な「湘南カントリークラブ」(神奈川県藤沢市)で開催されました。

通知が行きわたらないのではとの心配をよそにコースの名前に惹かれゴルフ

同好の志16名が集まり、絶好のゴルフ日和の下よくメンテナンスの行き届いたゆったりとした設計の名コースを満喫しました。

親睦が主目的ではありましたがコンペ形式をとりスコア集計の結果、今年の春の玲瓏会(4月12日於平塚富士見CC)で優勝の市村義雄君(63回)が見事この「ミニ玲瓏会」も制し、スコア89でベス



トピックス

小説『天地人』 平成 21 年度の大河ドラマに決定

歴史小説家・火坂雅志氏(83回)原作の『天地人』が平成21年度のNHK大河ドラマに決定しました。

越後・六日町に生まれた主人公【直江兼統】は戦国武将でありながら『愛』の一文字を兜に掲げ、常に義の真理を貫くとともに、「国の成り立つは民の成り立つをもってす」を生涯の信念とした。

10年ほど前から「兼統」ゆかりの各地の市民有志たちによって熱心な顕彰運動が推進されてきたと言う。その熱意が作家火坂雅志を動かし、ついにはNHKを動かしたと言える。大河ドラマの原作者としては異例の若さである。



火坂氏は、ふるさとに絡む物語は純粋な創作精神を阻むような気がして避けてきたが、実は「越後魂」を書くことは自分の使命なのかも知れない。新たな創作の地平を拓く契機となった直江兼統と、新潟県人であることに感謝していると語った。

ペンネーム火坂の「坂」の字は、尊敬する坂口安吾から頂いたとのこと。

◆主な著作:「天地人」日本放送出版協会/「黒衣の宰相」文春文庫/「虎の城」祥伝社/「新潟樽きぬた——明和義人口伝」小学館など

にいがた暮らし相談の窓口が 表参道にできました。

「田舎暮らしをしてみたい」、「農業体験をしてみたい」、「古民家の空き家はない?」などのふるさと情報を紹介する窓口が、表参道・新潟館・ネスパスの2階にオープンしました。豊富な資料と専従の相談員が常駐します。レジャー、研修、定住などをお考えの方はどうぞご利用を。

グロ・優勝されました。ベスグロ常連の猪間駿太郎君(61回)は92で3位でした。

尚、秋の玲瓏会ゴルフコンペは10月3日(水曜日)平塚富士見カントリークラブで開催されます。(幹事:63回)

参加メンバー

61回:安宅久憲・猪間駿太郎・金子章・小林元雄・佐藤敏夫・竹尾昇・徳田晋也・長橋徳衛・藤田太郎・村山健

63回:市村義雄・津久井保

64回:遠藤治一

68回:木伏靖幸・村山隆男

住所リスト出力サービス

当同窓会では、皆さんからの情報を元に常に会員の住所録をコンピューターにて更新しております。「同期会をやってみたいけれど、皆の住所がわからない…。アイツは今どうしているんだろう?」などとお思いの方は事務局までお尋ね下さい。学年毎のリストを出力してお届けいたします。

ご希望の卒業回数を明記し、代表者の連絡先・送付先を書き添えて事務局宛 FAX をお送りください。

FAX. 03-3423-1692 (日下部・82回)

■住所リスト 1 学年 / 3000 円■

東京から新潟市を応援しよう!

新潟市サポーターズ倶楽部が
会員を募集しています。

■申し込み先■

【新潟市東京事務所】

102-0093 東京都千代田区平河町2-4-1

日本都市センター会館9階

TEL.03-5216-5133 FAX.03-5216-5134

ncsc@niigata-city-sc.jp

HP から入会できます。

<http://niigata-city-sc.jp/>

「にいがた暮らし」相談窓口

渋谷区神宮前 4-11-7

表参道・新潟館ネスパス 2F

10:30 ~ 18:30 (休館:日曜祭日)

TEL:03-3479-1415

FAX:03-5771-7714

n-soudan@mail.nespace.info

関連 HP

<http://www.chiiki.pref.niigata.jp/ujiturn/>

平成19年度 総会のご案内

日時

平成19年11月22日(木)
受付開始:午後6時
開会:午後6時30分

会費

一般:8,000円
女性:6,000円
大学生:3,000円

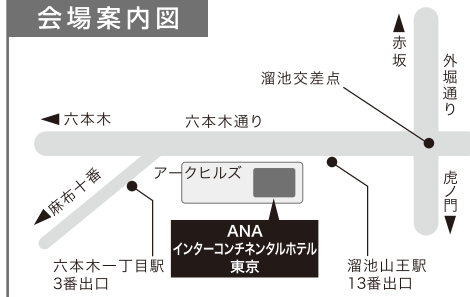
会場

ANAインターコンチネンタルホテル東京
港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111(代)

プログラム

- ◇総会議事◇
会務報告・会計報告など
- ◇懇親会◇
着席buffet

会場案内図



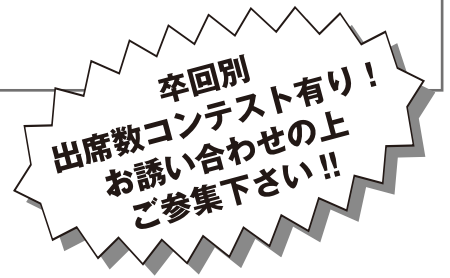
最寄り駅

銀座線・南北線【溜池山王駅・13番出口】
南北線【六本木一丁目駅・3番出口】

路線バス

都01系統/新橋駅~渋谷駅
【赤坂アークヒルズ前】下車

日にちが変更になっております。
ご注意くださいませ。



予告 次年度の新人歓迎会は平成20年6月20日(金)の予定です。

2007 新人歓迎会・講演会 PHOTO ALBUM

2007.6.15 fri.
ANA Intercontinental - Tokyo



■ 訃報 ■ H19/5月~H19/9月の間に事務局にお知らせいただいた方々です。

曾我俊吉 (33回・日付不知)	佐藤昭三 (52回・H19/7/17)
山崎重三郎 (34回・H18/11/10)	石田智 (56回・H17/9/30)
滝沢義雄 (43回・H18/12月)	清水隆 (56回・H19/4/27)
川村明義 (45回・H18/6/9)	早福昭介 (64回・H19/5/15)
山際通 (47回・H18/2月)	近藤裕志 (70回・H17年)
山田猛 (48回・H19/1/22)	北村千鶴子 (72回・H16/9/11)
一柳俊夫 (50回・日付不知)	池嶋俊明 (76回・H19/2/4)
佐藤真一 (51回・H19/5/7)	長谷川哲郎 (76回・日付不知)

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

偶数月第二火曜日の会

平成19年度の予定

10/9・12/11 (兼忘年会)

平成20年度の予定

2/12・4/8・6/10

毎回定時 19時より

◇日本海庄や(赤坂店) 港区赤坂 3-13-7

Tel:03-3586-5003

場所も時間も固定です。

ふらりとお立ち寄りください。

同窓会のHP

◇青山同窓会◇

http://www.geocities.jp/niigata_aoyama/

◇東京青山同窓会◇

<http://www.tokyo-aoyama.org/>

東京青山同窓会会報

一筆啓上

～H19年の新人歓迎会・講演会への欠欠はがきと、18年度後半の会費振込用紙に添えられた主なメッセージです。～

33回・曾我俊吉
すでに本人は死亡しております。今後ご案内は不要に願います。(曾我昌之)

34回・山崎重三郎
父山崎重三郎平成18年11月10日急性心不全にて95歳9ヶ月の生涯を閉じました。

38回・曾則道
93才になりましたが、相変わらず元気で現役で働いております。皆様によろしく。目が悪くて困ります。

40回・高田信川
同窓会。東京同窓会も新潟での誰かに会へる楽しみから七、八年前迄は出掛けたがその後は話し相手もなく出席を止め、会報に載った四十回生の友人を健在と知って喜ぶ九十一の我。

41回・伊藤一雄
91歳になりますが、おかげ様で元気で。ほとんど毎日囲碁を楽しんでいます。庭の野菜作りなども。

45回・川村明義
平成18年6月9日逝去いたしました。長い間いろいろと有難うございました。

46回・富所強哉
新潟での同期の集(青山四六会)、昨年で打止めになりました。後2年で卒業70周年になるのですが、会員の現状から止むを得ないこと。私自身に年相応と思っています。

47回・山藤通
主人は平成18年2月死去致しました。お世話になりましたがよろしくお願ひ申し上げます。(山藤久枝)

48回・山田猛
平成19年1月22日永眠いたしました。ご盛会をお祈りいたします。(山田猛家族)

50回・時田勇司 ご盛会を祈ります。

51回・市村亮
昨18年3月に引越して来ました。健康必ずしも勝れず、外に出る機会も減らして「私顔愛語」に沿うべく努力中と言えどもこえはいいのですが、年金生活者の風たる生活の中になります。

51回・河路渡
51回生は年に1回東京で集まっています。

51回・藤島武雄
6/9～9/20(103日間)、ピースボートで世界一周の予定。環境人権・教育・疾病などの問題地での検証・体験・検分を重視し、観光は後退のエクスカッションです。船中では社交ダンス教室を開きます。体力勝負の旅は本年で終わりますか?

52回・渡辺達郎
いつも華やかな記事ばかりでなく、もっと心のこもった松樹千年翠の如き記事に乗せてもらいたい。一層の努力を求む。事務局へ。

53回・林博
案内ありがとうございます。折角のご案内ですが今後事情に依り各会合に出席出来るようにありませんので案内を無用としてください。

53回・山田豊
東京青山同窓会を退会させていただきます。青山同窓会(新潟)一本にしたいと思ひます。長らくありがとうございました。

55回・水澤悠紀郎
体調不良に付欠席とさせていただきます。幹事役の皆様何時もご苦様です。

56回・飯島昌彌
幸いに健康をキープ、多くの56回在京の仲間共々、元気に余生を楽しんでおります。

56回・石田智
平成17年9月30日死亡して居ります。長い間の厚情深く感謝申し上げます。皆々様の益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。(石田芳江)

56回・近藤源也
H19年4月27日清水隆君逝去。同級生が年々減って行きます。

56回・鈴木正身
小生在学期間1年のみです。又体調も良くないので退会させていただきます。

56回・松井昭五
4月の初め久しぶりに夕刻の古町を一人で歩いてみました。昔とは殆ど町の様子が変わっていましたが、白山神社の近くにきますと昔の面影が残っているような気がしてなつかしいことでした。

56回・皆川正男
精神科の診療、メンタルヘルス相談、看護学校の講義など、相変わらずの生活が続いています。遙か老齢の域ですが、体は何とか持っています。

58回・佐藤恪
75歳となり年齢なりに諸々こわれて居ますが一応元気で。週一回の太極拳と町内会のお世話をしています。会の盛会と御出席の皆様御健勝を御祈り申し上げます。

58回・大門啓治
お蔭様にて無事に過ごしております。盛会を祈ります。

58回・宗村泰四郎
5/26には新潟でS24・25年卒業の同期会。10月下旬～11月上旬には東京で同じく同期会開催の予定です。

58回・毛利剛
ご返事が遅れて申し訳ありません。5月中よそへ出掛けておりました。

58回・望月高之
体調が悪く外出は困難のため、欠席させていただきます。

59回・安宅久朋 益々の発展をお祈りいたします。

59回・岡田久
総会には出席させていただきたいと思ひます。

59回・高山昇二郎
謡曲を習っております。だんだん深みにはまっています。

59回・長橋敏雄
別の集まりに「出席」の旨、答えてしまった後でしたので(たまたま同日)、残念乍ら今回は欠席にさせていただきます。

59回・渡辺敏男
来年春に市川へ転居の予定です。そうなれば東京での集まりにももっと参加できると思ひます。皆さんによろしく。

60回・石田章
お蔭様で元気にしておりますが、残念ながら出席できません。ご盛会をお祈り致します。

60回・小出直
家内の三回忌が終わったばかりで、疲れて出掛ける意欲が湧きません。お許し下さい。

61回・稲垣甫玄
老体を引きずりながら社交ダンスの競技会に参加しています。成績は・・・?

61回・小池弘
私は現在満73才。無職、体調不良。妻、次女と3人暮らしです。会報40・41号玲瓏会報告を拝読しました。

61回・小林元雄
玲瓏会(ゴルフ会)に毎回ご尽力いただいている金子章さん、村山健さんに心から感謝申し上げます。

61回・藤田吉次
事務局の方々、本当にご苦労様です。本会の益々の御発展を心より願っております。

62回・小黒昌一
本を読んだり 雑文を書いたり 寝たり 起きたりしています。S.O.

62回・佐藤勝彦 今回もまた失礼させていただきます。

62回・帆刈宏典
元気で細やかな趣味と社会活動を続けております。ご盛会と各位の益々のご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

63回・柏正弘
いつもご案内有難うございます。失礼ばかりですすみません。次回「偶数月第2火曜日の会」にお邪魔してみたいと思っております。ご返事が遅れてゴメンナサイ。

63回・馬場欣哉 いろいろお世話様でございます。

64回・阿部政司
都合により欠席いたします。盛会をお祈り申し上げます。

64回・桑野光雄
体重63kgをキープし、元気うちと思つて色々なことに積極的に取り組んでいます。当日は例年の広島行きと重なり失礼します。

64回・坂井俊一 同期の早福昭君が先週亡くなりました。

64回・佐藤章
ご案内ありがとうございます。同期の早福昭君が亡くなり、5月18日の通夜に出席しお別れをして参りました。昨年11月には元氣そのものの姿を見ており、本当に残念です。

64回・嶋岡洵 我が身、俊寛に似たりと思ひつめております。

64回・清水良男
すみません。欠席させていただきます。他の予定と重なりそちらに先約いたしましたので、残念ですが欠席させていただきます。御盛会をお祈りいたします。

64回・津野廣浩
他の行事と重なってしまいました。元氣に過ごしておりますが、先日同期の早福さんが急逝されがっくり来ました。6月で満70才になりますが、まだまだ元氣にやって行きたいと思ひます。

64回・中川透
所要のため欠席致します。盛会をお祈りして居ります。

64回・中島仁
残念ながら、15日～27日までロスに行っており出席できません。

64回・中谷光隆
一年ごとに人間や社会について解ってくることがあります。しかしその期間が経つごとに体力の衰えを感じます。

64回・星満
申し訳御座いせんが今回は欠席させていただきます。

64回・堀越慧
慧、由美子、2名とも欠席させていただきます。

64回・山根伸之
当日は出勤ですが、5時半頃までには会場にいけると思ひますので、少しでも受付の手伝いをしたいと思ひています。

65回・佐藤武行 ご苦労様です。

67回・池隆夫
住まいは関西で、関西の青山同窓会には出席しております。東京には過去1年くらい勤めたことがあり、1回東京の同窓会に出たことがありました(30才頃)。実質的に同窓会に出ることもないと思ひます。会報、案内などの送付は遠慮したいと思います。

67回・石田瑞穂
本年は欠席です。参院選間近。多忙。同窓佐藤氏の上位当選を願っています。公務上、直接何もできませんが、東京青山の皆様応援を聞き喜んでいます。ラストスパート、更に期待しています。(新潟市選挙管理委員長)

67回・松井啓
「初代大使の見たカザフスタン」という本を「めるくまーる社」から出版することとなりました。

68回・高田恵子
免疫性肝炎、レイノ病、強皮症、関節リウマチだけでも大変なのに、今度は得体の解らない繊維筋痛症まで発症しまして苦しんで居ります。兎に角原因も治療法もまったく未知の病気で。只云える事は、ストレスを如何に上手くコントロールするしか無い様です。

68回・滝澤辰雄
転居致しましたのでよろしくお願ひ致します。

69回・高木敏之
病院の行事と重なり欠席します。とうとう定年まであと1年となりました。

70回・近藤裕次
父は2年前(H17)に他界しましたので退会いたします。

70回・白石旺子
古巣の日テレ学院でアナウンサーを目指す大学生やスキルアップのための社会人を教えています。週に一度、拓殖大学でも教えておりますが、外国語の習得以上に日本語の敬語に悪戦苦

闘する若者が多く、日本語の難しさを改めて痛感しております。

70回・菅原一雄
年会費納入一覧に70回の記入が洩れています。(69回に記入されています)

70回・鈴木正俊
自由の身になって約1年となり運動(テニス、ゴルフ、卓球)に励み体重を減らしました。これから在日外国人向けのボランティア活動に向かいます。

70回・福島治
現在東京女子大学文学部で教えています。ダンテの「神曲」の次は「母語論」を出版予定です。

71回・柄沢卓
国民文化祭の迫りに圧迫されました。

72回・池田克弘
定年生活に入りましたが、毎日結構忙しく動き回っております。

72回・大野博 会の盛会を祈念しております。

72回・北村千鶴子
ご連絡が大変遅れておりましたが、千鶴子儀平成十六年9月11日に病気のため亡くなりました。

72回・小島修一
61才ですが同じ会社で同じ仕事をしております。地球温暖化対策ビジネスの開発をやっています。

72回・小林正昭
仕事の関係で出席できません。ご盛会をお祈り致します。

72回・齊藤俊正
元気で自然流に過ごしております。丁度旅行と重なりましたので欠席させていただきます。ご盛会を祈念致して・・・

73回・田中正弘
2007/11～6/16(土)銀座藍画廊にて開催。詳しくはホームページを御参照下さい。田中正浩で検索できます。

74回・加門下隆
インドネシア国立イスラム大学医学部の設計に携わっております。定年前の最後のプロジェクトとなりそうです。熱心なインドネシアの若手技術者と共に仕事を進めるのは楽しい事です。

75回・岡田政文
この4月から勤務先が変わりました。火曜日の当直がようやくなくなってほっとしています。陸上競技に益々打ち込んでいます。

75回・西山健 卒業して40年。久しぶりに出席いたします。

76回・池嶋俊明
平成19年2月4日死去致しました。(父池嶋清次郎)

76回・長谷川哲郎
夫・長谷川哲郎は亡くなりました。ご連絡が遅れて誠に申し訳ございません。長い間ありがとうございました。

78回・梅沢伸子
いつも会報をお送りくださりましてありがとうございます。

80回・長正子
受付のお手伝いいたします。その他、消費者啓蒙のチラシなどをまた配布させていただきます。

82回・西山浩子
一昨年勤務していた町田の方に配属となり、今回は時間がとれず欠席させていただきます。秋の総会にはぜひ出席したいと考えています。皆様にお会いするのを楽しみにしています。

85回・雨木寿慶
残念ながら通常の金曜日は講義、学生の実験が入っているため出席できません。皆様のご健康と盛会をお祈り申し上げます。

85回・柳下和彦 残念です。なかなか出席できません。

87回・南正人
所用あり総会に出席できません。もう平成生まれの青山IOBが出現ですね。盛会をお祈り申し上げます。

92回・小田部晶子
遠地にて総会などに参加することもかなわず、毎年会報を送っていたのが心苦しい限り・・・退会させていただきます。HPで母校の様子などなつかしく拝見いたします。

109回・島倉啓
この春就職し遠方で勤務となりましたので欠席させていただきます。ご盛会をお祈りいたします。

111回・生田文子
返信遅くなって申し訳ありません。当日は出席できませんが、ご盛会をお祈り致します。

111回・種田純郎 4月より名古屋で働くことになりました。

111回・前田沙織
就職し立川に配属になりました。慣れないことも多く、日々勉強の毎日です。

111回・和田朋子
4月に社会人になり転居いたしました。いつもお知らせいただきありがとうございます。忙しいながらも充実した毎日を送っています。

114回・田端宏樹
昨年度は返信をおしせず、誠に申し訳ありませんでした。6月15日ですが、6月17日に所属する陸上競技サークルの主催の大会が開催されるため、出席を見送らせて頂きたいと思ひます。御盛会の程、お祈り申し上げます。

114回・間島聡美
昨年も参加させていただきまして。今年もよろしくお願ひします。

115回・菅井玲奈
今回学校の方が忙しいため出席できません。申し訳ありません。またの機会を楽しみにしています。

115回・中村英夫 返信が遅れてすみません!

115回・藤木友太
用事があるため欠席致します。申し訳ありません。

115回・梁川暁男
参加できなくて申し訳ありません。楽しく大学生活を送っています。

115回・横山綾乃 ボート部に入りました。楽しくやっています!

平成18年度 (H18.10.1~H19.9.30) 年会費納入者一覽

通5回 (1名) 佐藤紘哉	阿尻威吾 千葉繁治	宗村泰四郎 山保剛	赤堀和郎 浅見昭夫	會正之 柏正平	中野武管 二宮靖彦	岡田利邦 加藤邦紘	熊谷玄典 黒井健	五十嵐久美子 石川彰	杉林亨 杉山真理子
34回 (1名) 山崎重三郎	中村正義 中村幹男	毛利剛 望月和明	安宅久憲 阿部亜生	白倉至 中村道衛	丹羽真彦 野水宏樹	川田昌人 近藤健太郎	黒木幹雄 笹川雅之	一色由美子 片山等	早福博夫 田中清
38回 (3名) 會則道 竹石三男 丸山岩三	水澤悠紀郎 村山義夫	本永祐嗣 山谷皓栄	安藤友憲 伊藤英子	馬場政説 彦坂道彦	林武郎 半澤弥栄	三井昌子 村上紀光	佐藤俊栄 佐藤信秋	北村一雄 佐藤茂	田中研一 登坂和生
40回 (1名) 高田信川	朝比奈和三 阿部弘昭	安宅久朋 阿部進	伊藤英子 風間博	村山弘義 山田恵一	半澤弥栄 村上紀光	菅原一雄 関能仁	杉崎真実子 関能仁	角南兼朗 田原隆夫	苦米地吉 花角英世
41回 (2名) 伊藤一雄 星名孝平	荒井宏 飯島昌彌	板井裕 牛木素吉郎	金子章 河井良三	山田恵一 青野啓	室由紀子 吉田六工門	鈴木正俊 関口明子	高橋保 高橋信郎	時岡高志 田中利実	森大輔 山田尚美
43回 (4名) 里見義忠 滝沢義雄	久慈正彦 久保田剛敏	大山大久 岡田久	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	朝妻紘一 石井幹男	花輪治 馬場誠	高橋信明 田村栄作	長谷川実 山田民夫	齋藤健 佐野晴美
44回 (4名) 小山村得二郎 斎藤伸雄	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	石井幹男 一柳肇	福島治 福島治	土屋彰義 土屋彰義	梅沢伸子 太田秀樹	田中利直 広田淳子
45回 (1名) 五十嵐孝三	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	一柳肇 江部陽一	福島治 福島治	西田百合子 西田隆二	太田秀樹 大竹二雄	宮腰重三郎 吉井正行
46回 (2名) 下勇	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	江部陽一 大石正男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
47回 (4名) 小杉吉二郎	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
48回 (3名) 石本三郎	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
49回 (10名) 佐藤素一	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
50回 (8名) 一柳俊夫	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
51回 (9名) 市村亮	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
52回 (10名) 浅田稔	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
53回 (3名) 近泰男	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操
54回 (6名) 皆川敦	幸田慶治 小嶋秩夫	岡田久 奥村繁樹	大野利夫 奥村繁樹	大石正男 大倉孝男	大石正男 大倉孝男	福島治 福島治	波多腰明 波多腰明	齋藤康之 齋藤康之	清水忠明 田口操